

2月22日：ベトナム株は上昇も警戒感は続く

月曜日にベトナム株は上昇したが、投資家は警戒感を保ち続けたため、流動性は減少し外国人投資家は売り越した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.13%高の1,175.04ポイントで取引を終えた。

出来高は6億3000万株で売買代金にして15.3兆ドンであった。

199銘柄の上昇に対して231銘柄が下落した。

VN指数は短期的には1,180ポイントの抵抗線を試す展開となるだろう。流動性はわずかに減少し、値幅は小さくなり、多くの銘柄が売られている、つまり投資家の警戒感を示しているとBIDV証券は述べた。

外国人投資家はホーチミン市場で売り越しだった。VN指数は1,160-1,200ポイントのレンジで推移するだろうと続けた。

外国人投資家はホーチミン市場で6134億ドンの売り越し、ビナムミルク（VNM,1782億ドン）、ホアファットグループ（HPG,1101億ドン）、SSI証券（SSI,425億ドン）、ハノイ市場では、110億ドンを買った。

引けにかけて、VN指数の上昇幅は小さくなった。テクコムバンク（TCB）、軍隊銀行（MBB）、ベティンバンク（CTG）、サコムバンク（STB）などの下げが相場を押し下げた。

サコムバンク（STB）は0.5%安の18,600ドン、テクコムバンク（TCB）は0.3%安の38,600ドンで取引を終えた。

証券株も下落、SSI証券（SSI）は0.9%安、VNダイレクト証券（VND）は0.9%安、ベトナムキャピタル証券（VCI）は1.4%安となった。

フーニョアンジュエリー（PNJ）、サイゴンハノイ銀行（SHB）、ビンコムリテール（VRE）、サイゴンビール（SAB）なども振るわなかった。

上昇を見せたのは、キドグループ（KDC）、ビンホームズ（VHM）、ビンググループ（VIC）、VPバンク（VPB）などで資金を集めた。

VN30 指数は変わらずの 1,180.55 ポイントで取引を終えた。

VN30 指数では 20 銘柄が下落し、8 銘柄が上昇した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 2.94% 高の 237.97 ポイントで取引を終えた。

出来高は 1 億 700 万株で売買代金にして 1.8 兆ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。